

## 第14回課外活動援助団体 広島大学体育会馬術部

### 学生の時にしかできない挑戦を!

広島大学体育会馬術部は、1957年(昭和32年)に創部され、今年度、中国四国学生馬術大会で春季13連覇、夏季11連覇を果たすなど、長い歴史と高い実績を誇ります。

「一時はコロナ禍で活動継続が危ぶまれましたが、多くの方にご支援いただき、連覇記録を更新することができました。本当にありがとうございました」と副主将の茜さん。馬術の魅力を次のように話します。

「オリンピックでは動物と行う唯一の競技で、馬と人が一体になるからこそ、貴重な体験を得られます。現部員は全員が大学から始めていますので、興味のある方は気軽に見学に来てください」

広島大学体育会馬術部の情報はコチラから▶



※課外活動にあたり、感染拡大防止策を徹底した上で活動しています(2021年12月25日時点)。



表紙は語る



茜知樹 副主将  
経済学部2年



広大厩舎には9頭の馬が所属



これから練習です



部員と引き馬の様子

## 広島大学校友会学生チーム メンバー大募集!

広島大学校友会学生チームは、「卒業生・地域・企業とつながる」をテーマに、メンバーの興味関心に基づいて、さまざまなプロジェクトに楽しくかつ真剣に取り組んでいます。ひと足先に「大人の世界」を体験できるチャンスにあふれています!

私たちと一緒に活動してくれる仲間を大募集中です!「とりあえず話だけでも聞いてみたい」など些細なことでも構いませんので、興味を持たれた方はお気軽にご連絡ください。

- ホームカミングデーの企画・運営
- ひろしまフラワーフェスティバルなどのイベントへの出店
- オリジナルグッズの製作・販売
- テレビ・ラジオ・新聞などのメディア出演
- 大学クラウドファンディングの企画・広報への参加
- 広島大学卒の先輩へのインタビュー取材同行

この春入学の新1年生のみなさん、  
来年度に新たなことに挑戦したい在校生のみなさん  
のご連絡をお待ちしています!



メンバー20人で  
活動中!  
掛け持ちもOK



活動内容例

連絡先



kotoshino.huhcd@gmail.com



@kotoshino\_huhcd

## 特集 第15回広島大学ホームカミングデー開催報告

ノンフィクション作家 堀川 恵子さん

特別対談

広島大学長 越智 光夫

私たちの財産「ヒロシマの平和」から  
安寧な暮らしの根底にあるべき「平和」へ



# 第15回広島大学ホームカミングデー

広島大学東広島キャンパス 2021(令和3年).11.6 Sat

2021年11月6日(土)、第15回広島大学ホームカミングデーを東広島キャンパスで開催。昨年度に引き続き、マスクの着用など新型コロナウイルス感染防止対策を講じる中、多くの卒業生や市民の方々にご参加いただきました。

見逃し配信やってます! <https://youtu.be/f7gLOPmF1xM>



Opening Ceremony

## オープニングセレモニー

サタケメモリアルホール

学長挨拶 広島大学長/広島大学校友会会長 **越智 光夫**

### 国際化とイノベーションの拠点へ

広島大学は、2024年に創立75周年を迎えます。白鳥学校の創設から数えて150年の節目の年でもあります。この秋には地元東広島市にもお力添えをいただき、新たな国際交流拠点施設「広島大学フェニックス国際センター ミライ クリエ」が東広島キャンパスにオープンしました。地域や実業界との協働をいっそう深め、東広島、霞、東千田3キャンパスの整備と抜本的な機能強化に取り組みます。



### 表彰式 表彰を受けられた方々

#### 広島大学長表彰

- 井上 徹氏 広島大学学術院(大学院先進理工系科学研究科)教授
- 田治 明宏氏 広島大学大学院医系科学研究科契約技術職員
- 西原 禎文氏 広島大学学術院(大学院先進理工系科学研究科)教授



#### 広島大学教育賞

- 川田 和男氏 広島大学学術院(大学院人間社会科学研究所)准教授
- 北村 充氏 広島大学学術院(大学院先進理工系科学研究科)教授
- 半井健一郎氏 広島大学学術院(大学院先進理工系科学研究科)教授

#### 広島大学長特別表彰

- 大毛 宏喜氏 広島大学学術院(病院)教授
- 岡本 百合氏 広島大学学術院(保健管理センター)教授・保健管理センター長
- 木内 良明氏 広島大学学術院(病院)教授・病院長
- 田中 純子氏 広島大学理事・副学長(霞地区・教員人事・広報担当)
- 田原 栄俊氏 広島大学学術院(大学院医系科学研究科)教授

#### Phoenix Outstanding Researcher Award

- 金指 正言氏 広島大学学術院(大学院先進理工系科学研究科)准教授
- 河野 佑氏 広島大学学術院(大学院先進理工系科学研究科)准教授
- シャリフィ アユーブ氏 広島大学学術院(大学院人間社会科学研究所)准教授
- 富川 光氏 広島大学学術院(大学院人間社会科学研究所)准教授
- 中森 正博氏 広島大学学術院(病院)助教
- 長澤 寛規氏 広島大学学術院(大学院先進理工系科学研究科)助教
- 前田 慶明氏 広島大学学術院(大学院医系科学研究科)講師

Welcome Concert

広島大学教育学部  
音楽文化系コース弦楽研究室

## 歓迎コンサート

サタケメモリアルホール

ゲストスピーカー、堀川恵子さんと丸田佳奈さんを歓迎するミニコンサートが1年ぶりに開かれました。



Lecture Meeting

## 講演会

サタケメモリアルホール

ノンフィクション作家 **堀川 恵子**さん

広島大学総合科学部を卒業後、広島テレビ放送に入社し、その後はフリーのジャーナリストとして活躍する堀川さん。膨大な資料の調査と洞察によって浮かび上がった、知られざる戦時中の広島について、そして自身の30年ものジャーナリストの経験を踏まえ、広島の出来事を歴史の文脈として問い続ける大切さを語りました。



Special Dialogue

## 特別対談

サタケメモリアルホール

産婦人科医・タレント **丸田 佳奈**さん

対談

広島大学理事・副学長 **田中 純子**教授

田中教授はコロナ禍の広島大学の取り組みを、丸田さんは産婦人科医として、出産や子育ての難しさなど、女性の置かれている状況を紹介。対談では、丸田さんはタレントとして情報を発信することの思いを語り、田中教授は研究者として、正しい情報を発信する責任や情報を伝える難しさなど、それぞれの立場から意見を交わしました。



## ホームカミング広場 サタケメモリアルホール周辺

### 校友会学生チーム

企画ブースステージ

当日は天候にも恵まれ、在学生が多彩なブースやステージで会場を盛り上げました。



心地よい音色に聞き入りました

レゴで作られた  
広島の名所やグルメが勢揃い!



卓球はみんなに大人気でした!



威勢の良いかけ声で会場を盛り上げました!



## ★連携市町の物産展★

連携協定を結ぶ広島県内市町、福島県などから、特産品や人気グルメが勢ぞろい! おいしい料理やスイーツにみなさん舌鼓を打っていました。



焼き立てかきは絶品でした

瀬戸田レモンおいしい!



# 学部・研究科企画

学部・研究科では、さまざまな取り組みや企画を実施しました。



**教育学部** オペラ「ジャンニ・スキッキ」全曲上演  
学生・教員が、演奏をはじめ小道具・大道具・舞台装置・衣装・照明などを制作し、上演しました。当日は一般市民を含め約170名の観客が来場しました。



**総合博物館** 「生物多様性」展と「前身校ゆかりの出征日の丸」展



**ナノデバイス・バイオ融合科学研究所**  
ナノデバイス・集積回路の最前線



**文学部** 文学部で味わう世界のティータイム  
留学生（台湾、インドネシア、スリランカ）3人が、出身地の文化や研究内容について発表しました。感染症対策に気を配りながら参加者と留学生の交流ができ、大変好評でした。



**文書館**  
「広島大学の歴史」展



**工学部** 工学部各実験施設等の見学



**自然科学研究支援開発センター**  
極低温の不思議な世界



**情報科学部** 情報科学部における研究最前線の紹介

**生物生産学部** 実験研究棟B改修記念見学会



**法学部・経済学部**  
パネル展示  
「コロナ禍で経済学が果たす役割」



**放射光科学研究センター**  
放射光研究施設探検隊

施設見学では、放射光の仕組みを質問するなど興味深く施設を見学する方もいました。実験は、子どもたちに大変好評でした。



**国際協力研究科 IDEC OPEN DAY 2021**

ブースでは学生たちが出身国の文化や食事などを紹介し、ステージではパフォーマンスを来場者に披露しました。参加学生間で民族や国を超えた交流もあり、有意義なイベントとなりました。



**宇宙科学センター** かなた望遠鏡天体観望会



海の生物に触れてみよう!



**総合科学部** 「総合科学部 学生独自プロジェクト」の紹介



コケ玉をつくろう!

**講演会** 法曹に求められるもの  
～裁判官としての経験を踏まえて～

裁判官としての実体験を交えながら、法曹の職務遂行に必要な資質や判断者としての姿勢についての講演を開催。参加者からは、「いろいろな経験談が伺えて興味深かった」などの感想が寄せられました。



**講演会** 新型コロナウイルス研究最前線  
～疫学・ウイルス学・対策研究～

疫学的調査研究に基づく解析結果や研究状況、J-SPEEDと呼ばれるデータ収集システムの新型コロナウイルス感染症対応における活用状況などが紹介されました。



昨年10月にオープンした「広島大学 フェニックス国際センター ミライ クリエ」で、施設のお披露目も兼ねて懇親会を開催しました。



テラス前広場に、「被爆樹木ナツメ」の二世苗木を植樹する植樹式を行いました。

# 私たちの財産「ヒロシマの平和」から 安寧な暮らしの根底にあるべき「平和」へ

第15回広島大学ホームカミングデーでは、ノンフィクション作家・ジャーナリストとして活躍中の卒業生、堀川恵子さんをお招きし、「広島で学んだ戦争と平和」をテーマに講演会を開きました。終了後には越智光夫大学長と対談の場を設け、学生時代の思い出や今日までのキャリア、平和への思い、第48回大佛次郎賞を受賞した著書『暁の宇品 陸軍船舶司令官たちのヒロシマ』などについて、興味深い話を聞かせていただきました。

## 高校まで陸上一筋 将来は何も考えていなかった

越智：堀川さんは総合科学部のご出身だそうですね。同学部を志望された理由を教えてください。

堀川：高校時代、進路とかどんな職業に就くとか、全く考えていませんでした。私は中学校からずっと陸上一筋で、朝から晩まで100メートルハードルの練習ばかり。いざ進学というタイミングになってから、大学案内をいろいろ見はじめて、そこで広島大学の総合科学部は2年から専攻が決まることを知りました。1年間は将来について考える猶予がある。実はこれが、総合科学部を志望した最大の理由なんです。

越智：高校生が人生設計なんて、まずないですよ。私も漠然と「体を動かす仕事をしたい」と思っていたくらいです。今の若い人たちもきっと同じでしょう。だから本校では、学生が将来を考えるきっかけになるように、『世界に羽ばたく。教養の力』というカリキュ

ラムを設けて、各方面の著名人に講演に来ていただいています。

堀川：学生時代に人生の大先輩と交流できる機会があるなんて、今の学生さんがうらやましいです。

## 青春時代がよみがえる まぶしかった東千田キャンパス

越智：東千田キャンパスでの学生時代、何が心に残っていますか。

堀川：入学当初を思い返すと、とにかく「まぶしい」という印象ですね。正門から延びる森戸道路の両脇に新緑が広がって、木漏れ日が降り注いで、そのまばゆさの下で友人たちと果てることなくおしゃべりしていた。キラキラした青春の思い出です。

越智：私も2年間、東千田のキャンパスに通ったので、当時の学内の様子がよくわかります。総合科学部の校舎はキャンパスの真ん中くらいでしたよね。陸上は大学に入っても続けられましたか。

HORIKAWA KEIKO

ノンフィクション作家  
堀川 恵子さん

広島大学長  
越智 光夫

OCHI MITSUO

1969年広島県生まれ。88年広島大学総合科学部入学。92年広島テレビ放送に女性初の報道記者として入社。12年までNHKを中心にテレビドキュメンタリー制作を手掛け、放送ウーマン賞、放送人グランプリ、ギャラクシー賞大賞など受賞。13年以降は執筆に専念。21年7月、新著『暁の宇品 陸軍船舶司令官たちのヒロシマ』（講談社）を上梓。第48回大佛次郎賞受賞した。

を取るのか……。女性記者の扱いに困っていたと思います。この私が、入社して1年ぐらいは「姫」と呼ばれていたんですよ。

名乗りながらですが、チップをもらうことありましたよ。学生時代一番の思い出です。

## 広島テレビ報道部で 女性記者がいなかった新人時代

越智：卒業後は広島テレビに入社されました。ジャーナリストを目指されたきっかけは何だったのでしょうか。

堀川：課外活動に力を入れるうちに、取材される機会が多くなりました。カメラが長時間密着するんですが、テレビで流れるのはほんの数分。なぜそうなるのか、理由をまず知りたかった。それから、取材されるよりもする方が楽しそうと思い始めたんです。少しずつテレビ局が就職の視野に入るようになりました。3年生の初めごろです。

越智：広島テレビ初の女性報道記者として、ご苦労もあったのでは。

堀川：いえいえ、肩書一つで有名な方に会えるし、私は楽しいばかりでした。むしろ周りの先輩たちの方が苦労したはず。泊まり勤務は大丈夫なのか、12キロものカメラを担がせていいのか、けがをしたら誰が責任

## 現場の仕事が何よりも好き 生の声を拾うために独立を決心

越智：広島テレビでは原爆や経済問題など、多岐にわたる番組を手掛けられました。順調なキャリア形成のように感じますが、フリー転身の背景には何があったのでしょうか。

堀川：入社11年目にキャップからデスクに異動になりました。キャリア上これは昇格です。でも、現場に出る機会がほとんどないんです。他の記者の記事をチェックしたり番組編成をしたり、その名の通り1日中デスク業務。それまでは記者の4番バッターだったのに、何か手応えのようなものがない。入社時に約束してもらった「いずれはニューヨーク特派員に」という話も、デスクになったので流れました。すごく悩んだけれど、やっぱり私は現場で一記者、一ディレクターとして生きていこうと決断しました。

## 小さいけれど大事な問題に 光を当てて世に出したい

越智：退社後に上京されていますが、仕事はすぐ軌道に乗りましたか。

堀川：広島テレビ時代に全国的な賞をいただいたこともあり、企画は書いた端からほとんど採用されました。2年ぐらいは常時3〜4本のドキュメンタリー番組を抱える大忙しの日々でした。

越智：売れっ子になられたんですね。

1952年愛媛県生まれ。77年広島大学医学部卒業。95年島根医科大学教授。2002年広島大学大学院教授。広島大学病院長などを経て、15年広島大学長に就任。膝関節、スポーツ医学を専門とする整形外科医。開発を手掛けた軟骨の再生医療は、日本発として初の保険適用となった。15年紫綬褒章を受章。21年から中央教育審議会委員を務めている。



堀川：ありがたいことに、でも忙しいばかりで、ふと「本当は何をやりたいかあったらどうだろう」と思い始めました。取材したいのは、平和のこと、死刑問題、刑事裁判……いろいろあります。これらにもう一度、最初から取り組みたい。そこで、全ての仕事をいったん断りました。そこから1年がかりで一つの番組を作り、著書にまとめたんです。

越智：そこまで情熱を注げるジャーナリズムとは、堀川さんにとって何でしょうか。



堀川：大きな事象はテレビや新聞などの大メディアが取り上げてくれます。フリーランスとしてできることは、そこからこぼれ落ちる大事な問題、見えないけれど人の命に関わる

問題に光を当てて、人々に納得してもらえ形にして出すこと。これが、私なりのジャーナリズムです。

### SDGsは世界平和という大前提の上にこそ成り立つ

越智：大佛次郎賞を受賞された『暁の宇品 陸軍船舶司令官たちのヒロシマ』では、広島に住む私たちも知らない事実が掘り起こされていました。着想はどこから生まれたのでしょうか。



『暁の宇品 陸軍船舶司令官たちのヒロシマ』  
堀川恵子 著 講談社

堀川さんのサイン入り著書をプレゼント！  
詳しくはP14「広大ネットワーク・読者プレゼント」をご覧ください。



堀川：全てのことに「原因と結果がある」というのが私の考えです。原爆投下による終戦が結果であれば、原因は「なぜヒロシマだったのか」という疑問につながります。この疑問を30年間追究し、取材し続けた先に宇品が見えました。重要な補給基地が宇品にあるという情報を、当時の米側が掴んでいたという資料に巡り合ったのです。

越智：被爆地に開学した広島大学として、平和は原点です。東日本大震災の時、私は広島大学病院長だったのですが、発災直後に被ばく医療チームを編成し、現在まで延べ1300人を超える医療人を現地に派遣しました。支援は今も続いています。平和を希求する大学として、新入生向けに平和科目も必修にしているんですよ。堀川さんが抱かれる平和への思いを、ぜひ聞かせてください。

堀川：焼け野原からよみがえったヒロシマの平和は、広島に生まれ育った私の財産です。それともう一つ、戦争の対義語という意

味だけでなく、もっと広く平和を考えると、このごろ盛んに取り上げられるSDGs以前に、世界の平和がないと何も始まらないと思いますね。

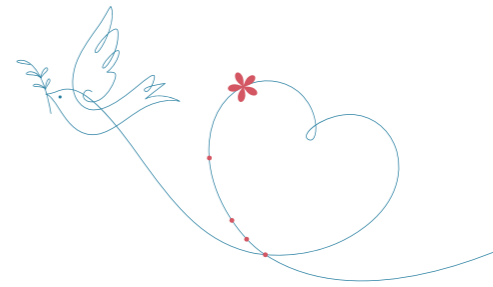
越智：私も同意見です。SDGsの成立には、世界平和が大前提だといつも話しているんですよ。同じ思いを持っていただいてうれいいます。

堀川：平和のとらえ方は、大きなシフトチェンジを迎えているのかもしれませんが。戦争が起こらないから平和なのではなく、地球上の人々が安らかに暮らすためにある平和。これは学問や経済など、すべての根本になるものだと思います。



### 英語を話すスキルよりも「伝えたい」という思いが大切

越智：国際化が進む日本で、広島大学も多様な取り組みを進めています。異文化を理解するために英語は必須だと思いますが、英語が好きとおっしゃった堀川さんから、何かアドバイスはありますか。



堀川：英語はツールでしかありません。まずは何かを「伝える」という意識の方が大事です。私は高校時代、ニュージーランドに留学した経験がありますが、「広島から来ました」と話すと、向こうの生徒から原爆に関することの質問攻めにありました。でも何も答えられなかった。英語が話せても、故郷について知らないことが多すぎたんです。だからまず、暮らしている国や町のことを知り、そこから他者に何を伝えたいのかを、自分の中で熟成させておくべきだと思います。その思いが強ければ、自然に英語力が身に付くのではないのでしょうか。

越智：最後に学生に向けたメッセージをお願いします。

堀川：社会に出ると厳しいです。4年間は許された最後の自由時間だから、勉強、遊び、思うことを全部行動に移してほしい。特に友人という生身の人間とのやりとりは、生涯の宝になります。たくさん友達をつくらせて意見をぶつけ合って、やりたいことを形にしてください。

### 堀川恵子さんおすすめの三冊



『天皇と東大』  
立花隆 著 文芸春秋

日本という近代国家がどのように誕生し、現代につながっていくのかを「東大」を通して描いています。近現代に起こったことをアカデミックと政治の両方から理解できる、この20年でもっとも感銘を受けた本です。



『歴史と視点-私の雑記帖-』  
司馬遼太郎 著 新潮文庫

戦車隊員として太平洋戦争を戦った著者が「ノモンハンの戦い」を振り返り、敗戦に至るまでの一つの視点を呈示。作家の体験に基づいて、権力とは何か、日本人とは何かが語られているので、面白く読み進められます。



『沈黙の春 (Silent Spring)』  
レイチェル・カーソン 著、青樹築一 訳 新潮文庫

農業に使われている化学物質の危険性を取り上げ、アメリカでベストセラーとなった一冊。原書も比較的易しい英語で書かれていますので、学生の皆さんも読みやすいと思います。

### ホームカミングデー同日、堀川さんは総合科学部の後輩と懇談しました

#### 堀川さん、学部後輩にアドバイス

ホームカミングデー（11月6日）で講演した堀川恵子さんは同日、総合科学部の後輩とも懇談し「学生時代はしっかり学んでしっかり遊ぼう」とアドバイスしました。

学部報「飛翔」の編集員を務めた3年生、犬田悠斗さん（人間探究領域）、黒木渉さん（社会探究領域）が、仕事に対する姿勢や将来設計の考え方などを質問。堀川さんは「資料は1000冊でも読み込む。取材は倒れる寸前まで尽くす。しんどいけど楽しい」と答えたとで、「私も海外赴任を夢見て放送局に入社したがかなわなかった。その時その時を全力で生きれば、道は変わっても開ける」と後輩を励ました。

堀川さんは、高校時代の陸上部経験や留学体験にも触れ、「体力も大切」と加えました。



堀川さんにお話を伺って

#### 犬田悠斗さん （総合科学部人間探究領域3年）

堀川さんの学生に対しても真摯に向き合ってください。物腰柔らかなお人柄が印象的でした。また、懇談では「体が動かなくなるまで諦めずにやり続ける」という徹底したやり抜く姿勢に感銘を受けました。今回の学びを、今後の成長に繋げます。



#### 黒木渉さん （総合科学部社会探究領域3年）

懇談の中で、堀川さんの一人一人に丁寧に向き合って話をしてくださる姿が非常に印象的でした。堀川さんから頂いた数々のアドバイスを胸に、自身の夢の実現に向け、学生生活や今後の人生を悔いの無いように過ごしていきたいと思っています。



in 廿日市

# 広島大学校友会学生チーム「地域を巡る」



樽の迫力は圧巻!



水族館の裏側も見学!

広島大学校友会学生チームが、地域の魅力を発見・発信するために、取材を行う企画の第2弾。今回訪れた場所は広島県廿日市市。世界遺産の厳島神社や日本三景として有名な宮島をはじめ、産業や文化、自然など、たくさんの魅力が混じり合った場所です。2021年12月、そんな廿日市で活躍する広島大学の卒業生に出会い、仕事や地域への思いなど、さまざまなお話を伺いました!

## 広島を代表する観光地「宮島」の今 やまだ屋 宮島本店

訪れたのは宮島表参道商店街の「やまだ屋 宮島本店」。「もみじ饅頭」や「桐葉菓」など、多種多様な和菓子を取り扱う宮島発祥のお店です。中村さんは広島大学生物生産学部出身で、現在は宮島観光協会の会長も務められています。中村さんに宮島の現状を尋ねてみました。

「宮島に限りませんが、新型コロナウイルス感染症によって、観光地は大きな打撃を受けました。ですが、秋から年末にかけては国内の観光客もかなり回復し、にぎわいを取り戻しています。地元へ貢献し、雇用を守ることも大切な使命ですので、歴史ある宮島の地を守るために地域一丸となって取り組んでいます」

「やまだ屋 宮島本店」の前で中村社長とパチリ!



株式会社やまだ屋 代表取締役 中村靖富満さん



宮島ともみじまんじゅうの歴史についても、教えていただきました。「宮島は、古代から島全体が神として信仰されていました。平清盛が大規模な造営を行い、少しずつ島に祈願に訪れる人が増え、江戸時代には宿泊施設や遊興施設ができ、人々をもてなすようになりました。もみじまんじゅうは、紅葉谷の旅館「岩惣」の女将さんが、手土産となる宮島名物もみじをかたどった和菓子作りを依頼したことで誕生しました」

広島を代表するお土産のルーツはやはり、宮島にありました。やまだ屋のもみじまんじゅうの特徴や、将来への思いも伺いました。「やまだ屋では水あめの代わりに、米あめを使っています。これによりきれいなきつね色になり、香りも良くなるのです。そして何よりもあんこです。手間はかかりますが、何度もさらしを重ねることで、滑らかであっさりとした上品な味わいに仕上がっています。2022年には創業90周年を迎えます。本店もリニューアルし、和洋創作の新ブランド「RAKU山田屋」も展開しています。不易流行の精神を持って、95年、100年と続き、老舗と呼んでもらえるお店にしたいですね。ぜひ、落ち着いたら観光に来てください!」



「餡」にはこだわっています!



## 廿日市からお酒を世界へ 株式会社サクラオブルフリーアンドディスティラリー



1918年の創業以来、100年以上廿日市で酒づくりを続けるサクラオ。2017年に蒸留所「SAKURAO DISTILLERY」が完成し、2021年には中国醸造から社名を変更しています。蒸留所を案内してくれたのは、広島大学大学院工学研究科出身の山本泰平さん。ジンやウイスキーなど、サクラオのお酒づくりを教えてくださいました。



案内してくれた山本さん

「お酒づくりで特にこだわっているのは、「広島」であることですね。ジンの製造では、レモンや牡蠣、地元廿日市の桜など、広島県産のボタニカルを使用しています」

蒸留に使用される機械はとて大掛かりで驚きました。



製造工程を見学後は貯蔵庫へ。たくさんの樽が並んでいます。「ウイスキーは、最低でも3年間は樽で熟成を行います。貯蔵庫は2つあり、瀬戸内海に面するこの桜尾の地と、安芸太田町戸河内の廃線のトンネルのなかで熟成させています。ウイスキーは、熟成する土地の影響を強く受けます。桜尾では潮の香りが、戸河内では森の香りがウイスキーに映し出されるのです。広島島の風土が育んだウイスキーを、ぜひ味わっていただけたらうれしいです」

最後に、社名を変更した理由について教えてくださいました。

「当社は1918年に、廿日市市桜尾の地でスタートしました。これからもこの土地でお酒をつくり、食の楽しさをお伝えする。そんな思いを込めてサクラオとしました。蒸留所を造ったのが100年の節目となる2017年です。地元・広島豊富な資源を生かし、次の100年に向かって挑戦を続けます」



## 瀬戸内海の魅力を一つに 宮島水族館 みやじマリン

訪れたのは、厳島神社から近い宮島水族館。ここでは主幹を務める三浦和伸さんと魚類担当の湯澤春佳さんにご案内いただきました。湯澤さんは教育学部の卒業生です。まずは三浦さんが、水族館について詳しく教えてくださいました。



湯澤さん

「当水族館は「瀬戸内海まるごと」がコンセプトです。例えば、干潟や里山などの環境を再現し、生き物のそのままの様子を見ることが出来ます。ミヤジマトンボのように、ここ宮島にしか生息していない生き物のレプリカや説明があり、職員が実際に海で釣り上げた魚も展示しています。皆さんが生き物と触れ合い、癒やしを感じられる水族館を目指しています」

瀬戸内の環境をそのまま切り取ったような展示が盛りだくさんです。なんと、広島の名産品「牡蠣」を養殖する様子も! スナメリや太刀魚など、珍しい生き物にも出会えました。

次に案内してもらったのは、2021年の夏にオープンしたばかりの展示施設「はつこい庵」。広島にゆかりのある生き物が集まり、和風な美しさを感じられる空間です。水槽を登る鯉や動きに合わせて変化する演出など、楽しい仕掛けがあふれています。

ここで湯澤さんに仕事に就いたきっかけや、思いについて教えてくださいました。

「私は小さな頃から、宮島水族館によく通っていました。生き物と触れ合うのが好きで、いずれは仕事にしたいと考えるようになりました。」

業務では生き物の世話をしますので、力仕事など大変なこともあります。いろいろな生き物と出会い、たくさんのお客さまと関わることができてとても充実しています。これからも地元へ密着し、皆さんに楽しんでもらえる企画を考えますので、ぜひ遊びに来てください!」



### 取材を振り返って



片山 開貴さん 法学部2年  
「この地域のために、この地域でがんばることに意義がある」と皆様が仰っていたのが、非常に印象的でした。一人一人が熱い思いを持つこと、ここに地域創生のヒントがあるように感じました。



廣田 絢音さん 法学部2年  
事業への思いや将来の展望などさまざまなお話を聞くことができました。地域に根付いて、共に発展していこうとする姿が共通していて印象的でした。大変貴重な経験でした。ありがとうございました!



大熊 咲穂さん 法学部2年  
サクラオさんの国産にこだわったお酒づくりや、やまだ屋さんの時代に合わせたお菓子作りの姿勢を知ることができました。このような広島に根付いた企業の様子を知られてとても良い経験になりました。



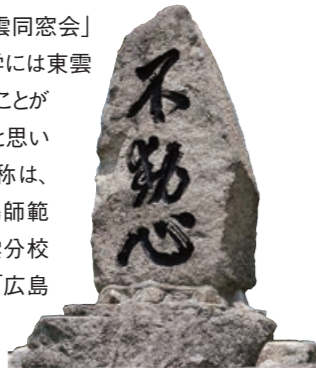
久保 菜々美さん 法学部2年  
今まで知らなかった企業さんのこだわりや、その地域とのつながりなどを知る良い機会になりました。皆さんが、誇りや思いやりを持って仕事に取り組んでおられるのを見て、心が温かくなりました。

# 広島大学の同窓会活動を紹介します!

## 一般社団法人広島大学東雲同窓会

東雲(しのめ)同窓会をご存じでしょうか。

「一般社団法人広島大学東雲同窓会」が正式名称です。現在広島大学には東雲(しのめ)という文字が出てくるのが少ないのでご存じない方も多いと思います。この「東雲同窓会」の名称は、戦後の教育改革によって、広島師範学校が広島大学教育学部東雲分校となったことに伴い、それまでの「広島県師範同窓会」から変更されたものです。



本同窓会は、2022年で創立116年を迎え、広島県師範学校(広島県福山師範学校、広島県三原女子師範学校を含む)、広島師範学校、広島大学教育学部東雲分校、同三原分校、広島大学学校教育学部、広島大学教育学部、および広島大学大学院学校教育研究科等の卒業・修了者(もしくは在学した者)を会員とする歴史ある同窓会です。現在、全国に1,500名を超える同窓会会員を有し、多くの現職教師の方々をはじめ、OB・OGの皆さんがさまざまな立場で教育へ貢献しています。

平成25年度に「社団法人」から「一般社団法人」へと移行し、現在、主に次のような活動を行っています。

- 1 会員の交流・研修の実施(広島県大会、県内各支部会、関東支部会、関西支部会等)
- 2 公益目的事業の実施
  - ・教職志望学生を対象に先輩が講師となり講座等を実施(都道府県別就職説明会、教育実践特別講座)
  - ・教育学部学生の教育文化振興活動への取り組みを支援
- 3 会員相互をつなぐ会報「不動心」の発行(年2回発行、現在141号)
- 4 同窓会員への慶弔活動
- 5 大学行事(ホームカミングデー等)への参加などその他の活動

### 今後の活動予定など

今後も教職を志す学生の教育・文化活動への支援を続けていきます。

教育界には多くの同窓の先輩方が活躍しています。いろいろなことを相談したりアドバイスを受けたりできます。教師を目指す学生の皆さんには卒業時にぜひとも本同窓会に入会して、多くの先輩方と出会い充実した教職生活にしてほしいと願っています。

連絡先 〒739-8524 東広島市鏡山一丁目1番1号 広島大学教育学部内 江田 英俊 TEL: 082-822-8495

2年後の2024年は、広島大学創立75周年、その前史である75年を加えると150年の節目の年を迎えます。周年に向け、広島大学にゆかりのある個人・団体のつながりを深めるため、シリーズで前身校や学部等の同窓会活動をご紹介します!

## 広島大学歯学部同窓会

広島大学歯学部同窓会のご紹介

広島大学歯学部同窓会は、会員相互の親睦と福祉を図ること、歯学の進歩向上に寄与することを目的に活動を行っています。会員総数は3,912名で、全国に26の支部があり、各地域において在校生や同窓生同士の交流活動を積極的に行っています。

同窓会活動としては、同窓会会誌の発行、歯科医師登録規定(代診制度)、求人歯科医院登録規定、会員のホームページ作成支援事業など同窓会員を直接支える事業のほか、卒後研修会を定期的に開催し、同窓生の生涯研修を支援しています。また、昨年度からは、同窓生への呼び掛けを行い、広島大学歯学部基金を通じて、生活困窮学生に対する支援金の給付を行っております。



毎年開催していた留学生と学部教授、同窓会役員との懇親会の様子です。コロナ禍のため、今年度も開催できませんでした。

### 今後の活動予定など

コロナ禍のためすぐに行えない活動もありますが、

- 01 同窓生向けの研修会の開催
- 02 新入生歓迎の霞オリエンテーションキャンプへの支援
- 03 成績優秀者への歯学部同窓会奨励賞の授与
- 04 謝恩会記念写真贈呈
- 05 同窓会会報での課外活動の報告
- 06 クラブ活動への支援

また、引き続き生活困窮学生に対する支援金の給付を行うため、同窓生への呼びかけを継続して行ってまいりますのでご協力の程、お願いいたします。

連絡先 広島大学歯学部同窓会事務局 〒734-8553 広島市南区霞一丁目2番3号 TEL: 082-257-5799 FAX: 082-257-5799 <https://www.hiroshima-u.ac.jp/shigakubudousoukai>

歯学部基金へのご支援はこちら 広島大学歯学部基金 <https://www.hiroshima-u.ac.jp/dent/kikin>

## 夢の系譜 ドリームチャレンジ賞

未来社会を担う広大学生に、学術・文化・スポーツ等における自主的な活動の資金を支援する制度です。

広島大学吹奏楽団

第14回ドリームチャレンジ賞受賞

自分たちで運営し、「楽奏」を地域の方へ。

団長(取材時) 中名直人さん 理学部3年(左)、元団長 加藤里菜さん 教育学部4年(右)



### 半世紀を超え、歴史ある吹奏楽団

「明日12月26日、広島文化学園HBGホールにて、第57回定期演奏会を開催します。1年を通してコンサートの開催やコンクールへの出場など、さまざまなイベントがありますが、12月の定期演奏会は、伝統もあり団員の大きな目標になっています」と話すのは、元団長で教育学部4年の加藤里菜さん。

1958年(昭和33年)に発足した吹奏楽団は、学生運動による中断など紆余曲折を経ながらも活動を続け、音楽の素晴らしさを発信してきました。定期演奏会の他にも、大学内での演奏会、他大学との合同演奏会、コンクールなど、さまざまな機会でも演奏を行っています。近隣の福祉施設や商業施設でもコンサートを開催しており、地域では知られた存在です。部員も100人近くが在籍している、大きな団体です。

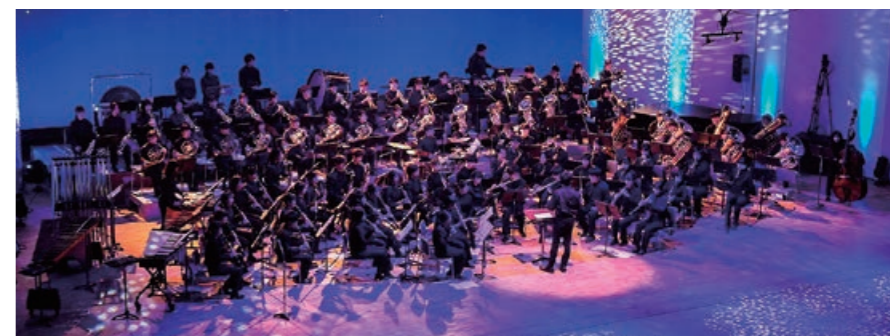
### 定期演奏会を無料で開催する意義

コロナ禍で、2020年の定期演奏会は中止になりましたが、2021年は開催に何とかこぎ着けています。この取材は定期演奏会前日(12月25日)に行いましたので、団長を務めている理学部3年の中名直人さん\*に、開催への思いを尋ねてみました。

\*定期演奏会をもって、3年生は卒団になるそうです。



第57回定期演奏会に向けた練習



「2年近く、お客さんを招いての演奏がほとんどできていませんでした。吹奏楽団は、学生運営を特徴としており、業者さんとの調整や事務作業も全て団員が行っています。大きなホールを借りて自分たちでつくり上げていく定期演奏会は、いわば活動の集大成です。制限はありますが、実施できて本当に良かったです」

2020年に、ドリームチャレンジ賞に申請しながらも、定期演奏会を中止せざるを得なかった加藤さんは、その重要性を次のように話します。

「本来は2,000人が入るホールに、地域の方を無料で招待して開催しています。吹奏楽団のモットーである『楽奏』の意味は、字の通り『楽しく奏でる』です。私たちが楽しく活動に取り組み、その楽しさを地域の方へお届けすることで、社会貢献につなげていく。一人でも多くの方に、楽しい・うれしいと感じていただくための無料開催なのです」

### 自分たちでつくる楽しさ

高校までの吹奏楽部と、違いがあるかを加藤さんに尋ねてみました。

「高校までの部活だと、コンクールを目指し先生の指導の下で練習しますが、広島大学吹奏楽団は、イベント運営も、演奏の指揮も



第57回定期演奏会の様子

演出も自分たちで行っています。もちろんコンクールも大切な目標の一つですが、自分たちの手でイベント自体をつくっていくところが大きく違います」

イベント運営は大変ではないかと、明日を目前にした中名さんに尋ねてみると……。

「大変ですが、誰が上というわけでもなく、自分たちが主体となって、やりたい方向を目指してみんなでがんばっています。自分たちでつくり上げるというのは、やっぱりいいですよ。定期演奏会が終わると私たち3年生は卒団しますが、新入団員は年間を通じて募集中です。経験者でも大学に入って楽器を変える方もいますので、これからやってみたいという初心者やブランクのある方も大歓迎です!」

気になる学生の方は、ぜひ足を運んでみてください。

広島大学吹奏楽団ホームページ <https://hu-wo.jimdofree.com/>



## 広大グッズ オンライン販売 銀行振り込みも可能に!

広島大学とカーブがコラボしたグッズ、マスコットキャラクター「ひろティー®」グッズ。オンライン販売で、銀行振り込みでの購入が可能となりました(送料は着払い)。



「ひろティー®」グッズ



購入方法は  
こちらから

▲カーブコラボグッズ

東広島キャンパス(広報グループ)・霞キャンパスにて直接お買い求めいただくことも可能です。  
※マグカップは東広島キャンパスでのみ取り扱い

## Network 広大ネットワーク

## 広島大学の最新ニュースや 著名人との対談も!

毎年3回発行している、広島大学広報誌『HU-plus(エイチ・ユー・プラス)』。広報誌は寄附者や在学生の保護者の方などへ発送を行っている他、オンラインでもお読みいただけます!

2022年5月号(4月中旬発行予定)からは内容も大きくリニューアルしますので、どうぞお楽しみに!

デジタルブックは  
こちらから



### 2022年1月号(最新号)

**学長対談** テレビ朝日 エグゼクティブアナウンサー 大下 容子氏  
「一度きりの人生、失敗を恐れず踏み出して!」

**特集** ALL広島大学で目指す!カーボンニュートラル

**OBOG 紹介** 宮迫 良己さん 株式会社中国放送 代表取締役社長  
新宅 郁子さん 広島県 環境県民局長

この他にも元気な広大学生・教職員の紹介や、最新のニュースをお届けしています!



## 眠っている本が 大学の支援に!

広島大学では、古本募金事業「Book cycle」として、読み終わった本や、見終わったDVDなどをお送りいただくことで本学をご支援いただける取り組みを行っています。

不要になった皆さんの手元にある本が、その本を必要とする誰かの手に届くだけでなく、本の売上金により、広島大学の教育や研究を支えていることにつながります。

卒業・新生活シーズンを迎えるこの時期に「Book cycle」を通じて、広島大学を応援ください。



古本募金事業「Book cycle」 <https://hon-bokin.jp/hiroshima/>

## # 広大おはようプロジェクトを 実施しました!

10月4日(月)~22日(金)および12月1日(水)~21日(火)に、東広島・霞の両キャンパスで、学生に50円で朝食が提供されました。

コロナ禍でのアルバイト収入減などにより食費を切り詰めている学生らに、健康でおいしい朝食を届けたいという思いから、8~9月にクラウドファンディングを実施。多くの教職員や卒業生・在学生保護者の方々のお力添えもあり、当初の目標150万円を大きく上回る総額435万円のご支援をいただきました。これらのご支援と、広島大学生協からの支援金を原資とし、期間中の平日に合計14,700食が50円朝食として提供され、授業前に多くの学生が朝食を取る姿が見られました。



なお、現在広島大学では2022年3月末にかけて、医療系のクラウドファンディング3件に新たに挑戦中です。皆さまの温かいご支援をよろしくお願いいたします。

広島大学クラウドファンディングURL <https://readyfor.jp/pp/hu>

## 千田塾若手メンバーと現役広大学生が交流

12月20日(月)に、ANAクラウンプラザホテル広島で、広島大学同窓会組織「広島大学・千田塾」の若手メンバー(20~30代)が中心となり、現役広大学生と交流するイベントを開催しました(14名参加)。「若手・千田塾」と銘打ったイベントは2015年からスタート。オンライン開催も含め16回目です。

広島大学で学んだ同世代の絆で一気に打ち解け、それぞれの専門分野の情報交換に花が咲き、充実した一日となりました。



<https://sendajuku.net/>

### 読者プレゼント

読者の皆さまからのご意見、ご要望、情報提供をお待ちしております。アンケートにご回答いただいた方の中から抽選で合計15名様にプレゼント!

応募締め切り: 5月8日(日)

厳正な抽選の上、商品の発送をもって当選の発表とさせていただきます。

アンケートはこちらから



#### A サイン入り

『暁の字品  
陸軍船舶司令官たちのヒロシマ』  
堀川恵子 著 講談社



5名様

#### B 株式会社やまだ屋

銘菓撰10個入(桐葉菓5個、もみじ饅頭 ころあん・つぶあん・クリーム・抹茶・チョコ各1個ずつ)



5名様

#### C 株式会社サクラオブルワリー

アンドディスティラリー  
SAKURAO GIN  
ORIGINAL  
700ml



5名様

※ご応募は、満20歳以上の方に限らせていただきます。

## 親子3世代広大出身者を探せ!

おじいちゃん・おばあちゃんからお孫さんまで、親子3世代で広島大学に在籍・卒業(修了)した方々をご紹介します。

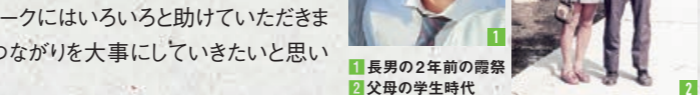


**1世代** 医学部(昭和49年卒業) 母:奥道恒夫です。  
**2世代** 医学部(平成11年卒業) 本人:奥道秀明です。  
**3世代** 医学部(在学中) 長男:奥道悠太です。

## 親子3世代情報募集中!

自薦・他薦は問いません。お待ちしております!  
連絡先: 広島大学校友会事務局 E-mail: [sec@phoenix.hirodai.jp](mailto:sec@phoenix.hirodai.jp)

広島県在住 奥道家 父母、私、長男の3世代で広大にお世話になっている奥道です。クラブは、父はバレーボール部、母は軟式テニス部、私は準硬式野球部(中退)に所属していました。長男は軟式テニス部です。教養は、父母は東千田キャンパス、私は東広島キャンパス(2年間)、長男は再び東千田キャンパス(少し東広島)で受けました。専門教育が霞キャンパスなのは3世代共通しています。父母の時代は学生運動まっただ中で、講義がない時期もあったそうです。私は平穏な時代を過ごしました。長男はコロナ禍まっただ中で、苦勞してそうです(私も大学職員として講義を担当しているので分かります)。広大のネットワークにはいろいろと助けていただきました。これからもつながりを大事にしていきたいと思えます。



1 長男の2年前の履歴 2 父母の学生時代

## 『広島大学75年史』NOW! ⑧

2024年は広島大学の創立75周年。75年史の編纂が進んでいます! お手持ちの写真・資料をご提供ください。

前号に引き続き、広大学生協発行(エリオ写真出版作成)の卒業アルバムの元写真を紹介します。



### 春の東千田キャンパス (1983年)

森戸道路での新入生勧誘(サークルの店だし)風景

写真提供 東 闊さん(1971(昭和46)年理学部卒業)

連絡先 広島大学75年史編纂室(担当:石田)

〒739-8524 広島県東広島市鏡山1-1-1 広島大学文書館内  
電話: 082-424-5120 FAX: 082-424-6049 E-mail: [nenshi75@hiroshima-u.ac.jp](mailto:nenshi75@hiroshima-u.ac.jp)